

1 「本質的な問い」による単元(題材)構想について

○ 本単元を貫く問い「黒瀬川・長谷川と郷原の自然を守るために、自分たちは何ができるのだろうか。」を単元の中で繰り返し児童に提示した。川での体験活動を7回(12月現在)行い、活動後には成果の整理・分析、まとめ・表現及び活動の評価と振り返りを行うことを繰り返し行った。その結果、児童は単元を通して、この問いを繰り返し捉え直し、自分の考えを深めていくことができた。本質的な問い「わたしたちは、地域にどのように関わり、どう生きるのか。」については、本校児童が今後も続けて追究していくべき、大きな問いであると考えます。

2 単元(題材)で育成を目指す資質・能力について

【知識・技能】

○ 児童の振り返りの記述によると、100%の児童が、黒瀬川・長谷川の生物は、それぞれ特徴があること、周りの環境と関わって生きていることを理解していることが分かった。

● 川の生物やその環境の状況を捉えるために、適切な調査方法を実施したり、検証したりする方法について考えていくことについては、個人差があり、まだ十分できていない児童もいる。

【思考・判断・表現】

○ アンケート(表1)から、「自分の考えに理由を付けて発表している」(20.8%増)「伝わるように工夫をしている」(17.8%増)に肯定的な回答をした児童が増加したことがわかる。直接体験を重視し、ICTを活用して「個人思考→ペアでの交流→全体交流→個人の振り返り」という形式をパターン化することで、課題発見と解決に必要な情報を見付け、多様な意見を比較し評価しながら自分の考えを表現していく力が育ってきたと考える。(表1)

表1 育成を目指す資質・能力に関する学習アンケートの結果(一部抜粋)

	1学期	2学期
授業では自分の考えを進んで伝えている。	84.2%	85.2%
理由を付けて発表している。	55.3%	76.1%
自分の考えがうまく伝わるように工夫している。	63.2%	81%
振り返りの記述量の平均	235文字	382文字
質の高まった振り返りが書けた児童の割合		80%

○ 地域の方や、広島自然の会の方との交流、学習発表会や、まちづくりセンターでの発表と、外部の方との交流や評価を通して、さらに表現力が培われた。

○ 振り返りを比較できるワークシートを活用し、記述の内容を評価して、資質能力の色別シールを貼った。どのような力が伸びたかが児童に分かるようにし、教師は内容を把握したうえで、意図的に指名した。

振り返りを交流することで、次時の目標が明確になり、振り返りの質も向上した。(図1)

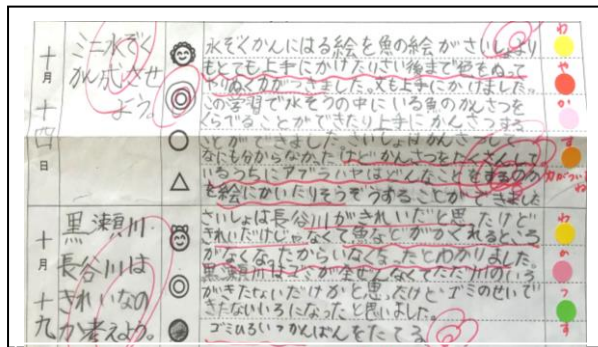


図1 自分の付けた資質能力が、継続的に可視化できるワークシート

● ペアでの話し合いは活発であるが、全体の場で表現することが苦手な児童や、書くことが苦手な児童がいる。その児童が表現したくなるような、学習内容のさらなる充実と精査を図る。

【主体的に学習に取り組む態度】

○ 「川のためにこれができる」という提案が、総合的な学習の時間のみならず、他教科や給食の時間等にも児童から出されることがある。自分たちの取組を振り返りながら、自分や友達が考えたことに、進んで取り組もうとする姿勢が見られるようになった。

○ 学習発表会后、保護者の方に感想を書いてもらい、それを分類して児童に提示した。自分の活動が評価され、保護者の気持ちや行動を変えたことが児童の自信になり、次の学習への意欲へ繋がっている。

「郷原の自然を大切にしよう。ゴミを捨てないで」というメッセージがとても心にひびいて、落ちていたゴミを拾いました。この発表会を通じて、川のこと、環境のことを子供達から教わりました。(中略)これを機に自分が変わっていったらと思います。

川を大切にしたいという思いが伝わるように(学習発表会を)がんばった。その気持ちがお家の人達に伝わって、その人たちが自分でもゴミを出さないようにしようと考えたり、実際にゴミを拾ったりしてくれた。大人の心を動かすことができ、練習をがんばったかいがあったと思った。次はゴミを落とさないよう看板を立てたい。

図2 保護者からの感想の一部 と それらを資料として行った授業後の児童の振り返り

3 「デジタル機器」の活用

○ 川での活動の記録、分析、話し合い等にICTを活用した。資料を使う時には、一度全体で提示してからロイロノートで配付するようにした。資料の理解が深まり、個人思考の時間が短くても、活発に話し合いを行うことができた。また、友達の見解を一斉に可視化したり(図3)自分の考えを説明したりすることが容易になり、表現することが苦手な児童も対話を楽しみ、全体でも発言が増えた。また、児童の思考に深まりも見られた。



図3 「川はきれいなのかどうか」について、自分の意見を色分けして提出したもの

